

名医を探せ!
注目のがん低侵襲治療 特集



腹腔鏡下胃切除術

胃がんの外科手術において、腹腔鏡下で行われる手術が急速に増えています。腹腔鏡下胃切除術は、傷口が小さく、痛みが少なく、身体に負担の少ない低侵襲手術で、早期社会復帰を可能にしています。

早期社会復帰が可能な 身体に負担の少ない治療

腹腔鏡下胃切除術は、おなか
に開けた0・5〜2cmほどの複
数の小さな穴からカメラと器具
を入れて患部を切除します。

手術は、開けた穴に筒状の器
具（ポート）を挿入し、体内で
器具を動かしやすいように腹腔
内に炭酸ガスを入れて膨らませ
ます。別の穴から内視鏡（小型
カメラ）や遠隔操作ができる
鉗子類、電気メスなどを入れ、
カメラでとらえた臓器の映像を

モニターに映して手術を行いま
す。カメラは、患部を数倍〜10倍
程度に拡大して映しだせるため、
肉眼では見えにくかった血管や神
経を傷つけないような繊細な手術
が可能となります。

腹腔鏡下手術は、傷口が小さく、
痛みが少ない低侵襲治療です。ま
た、手術の傷が目立たず、術後の
回復も早く、早期社会復帰が可能
になります。身体への負担が少な
いだけでなく、合併症が少ないこ
とも利点として挙げられます。

厚生労働省では、腹腔鏡等手術
における施設基準を設けていま

す。腹腔鏡下胃切除術は、そうし
た施設基準を満たした限られた医
療機関のみが提供できる高度治療
といえるでしょう。

関西医科大学附属病院

KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

胃がん手術から肥満・糖尿病手術まで
高度テクニックを要する低侵襲治療を実施



消化器外科 准教授
井上 健太郎
日本外科学会認定 外科専門医
日本消化器外科学会認定
消化器外科専門医



シミュレーションセンター
345㎡の広い空間に、100種類の機器を保有
当院は、胃がん・肥満・糖尿病手術
まで幅広く対応。胃がんに対しては、
身体に負担の少ない腹腔鏡下手術を

800例以上（2006年1月〜2017年12月）実施。特に高度技術を
要する為、日本内視鏡外科学会に技術を認められた腹腔鏡
下胃切除の経験を有する医師がシミュレーションセンターにて
日々修練を積み、より高度な治療を提供しております。また、
肥満・糖尿病に対しても低侵襲な腹腔鏡下スリーブ状胃切除
を保険診療で受けて頂けます。胃を小さくし食べる量を少なく
するだけでなく、食欲増進ホルモンを分泌する胃の部位を取り
除くことで食欲が低下していきます。手術から1年後には体重
が減少し、糖尿病治療薬も不要となると報告されています。

大阪府 枚方市新町2-3-1
【診療受付時間】8:30〜11:30
【休診日】第2・第4土曜、日、祝、
年末年始（12/29〜1/3）

☎ 072-804-0101

関西医科大学附属病院 消化管 外科